

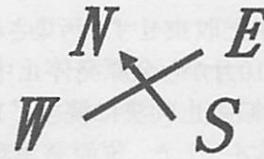
藤沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット

2015年6月1日

第253号



主
な
記
事

- ・総会 2014 活動報告と 2015 活動計画
- ・福島県と関東の甲状腺検査から言えること
- ・あれから 4 年震災・原発災害克服の途を探る
- ・気象情報 ・放射能測定値

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/
 事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳
 ☎ / F A X 0466-87-4922

環境月間に寄せて～藤沢市環境都市宣言へ～

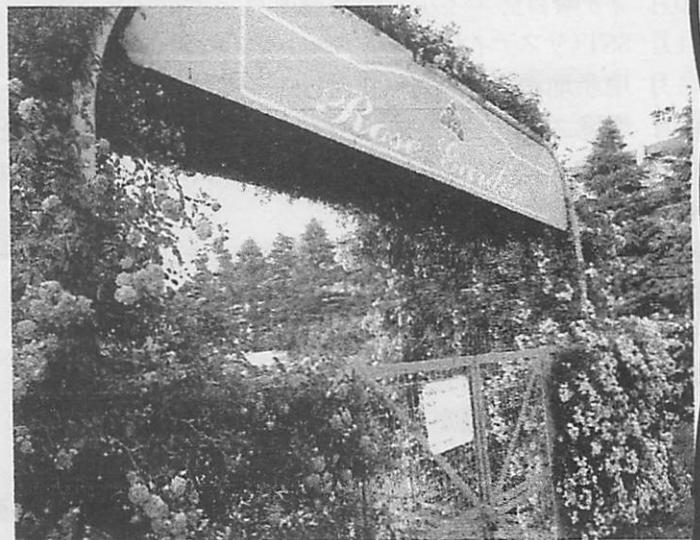
6月は環境月間。11月に開催される「ふじさわ環境フェア」は今年20周年を迎えます。相模平野南部に位置する藤沢は、温暖で、みどりあり川あり海ありの豊かな環境に恵まれて、気性がのんびり、ゆったりしている湘南人が多いようです。この20年間に、豊かな環境に影響のある問題がいくつか起こりました。増え続けるごみと有料化問題、ダイオキシン汚染と環境ホルモン、みどり減少・開発問題、バイオハザード、気候変動に関わる地球温暖化、そして放射能問題などです。

藤沢エコネットもシンポジウムを開き、提言をおこなった「藤沢市環境基本条例」が1996年につくられ、同時に「ふじさわ環境フェア」が環境啓発の一環として始まりました。その後2010年には「藤沢市地球温暖化対策実行計画」が策定され、その中で「1990年度比で2022年度までに市内の温室効果ガスを40%削減する」と目標を定めました。昨年改定されましたが、目標は変わりません。今年2月には「藤沢市エネルギーの地産地消推進計画」が作成されました。法人の太陽光発電など地産の大型エネルギーに補助をおこない、大きく再生可能エネルギーを進める契機となるよう、期待します。

地球温暖化とエネルギー政策は密接に関係します。上昇を2℃以内に抑えなければ、大きな気候変動を引き起こすと言われていますが、すでに1990年度比で0.85℃上昇し、海面は19cm上昇、寒暖がはげしくなり、亜熱帯気候化してきています。環境省によると、日本の2013年度温室効果ガス排出量は基準年の1990年比10.8%増です。

それに比べて市の目標は1990年比40%削減で、すでに2012年度で、26.6%削減しているというのは画期的です。市民、NPO、企業、行政それぞれ役割を持ち、できることから進めるという無理のない計画も効を奏しているようです。

11月の「ふじさわ環境フェア20周年」で「藤沢市環境都市宣言」をしようという意見も出ています。是非それに向かって計画を立て、実現できたらと願います。
(青柳節子)



日大バラ園のバラ 色とりどりです

2014年度活動報告

1. 脱原発の活動

福島第一原発事故未だ収束せず、汚染された排水が外洋へ漏れている。2013年10月から全原発停止中。福井地裁は'14年5月の大飯原発運転差止判決に続き、'15年4月に高浜原発運転差止仮処分決定を下した。脱原発実現のために活動。

(1)放射能測定活動

毎月身近な生活の場や活動の場の空間放射能線量を測定し、ニュースに掲載している

(2)ふくしまっ子支援保養活動

福島の子どもたちとともに・湘南の会の代表、事務局を担い、福島リフレッシュ保養活動年2回、通算6回開催した。資金集めは難しいが震災復興支援コンサートや個人の多額の寄付と助成金に恵まれた。長く続けられる計画を立てる必要がある。

7月 「2014夏ふくしまっ子リフレッシュin湘南&こどもの国」30人

3月 「2015春ふくしまっ子リフレッシュin湘南&こどもの国」39人

3月 「小さき声のカノン」湘南上映実行委員会を立ち上げる。

2. 大気汚染防止活動

年2回のNO2調査を続け、汚染地域の把握と行政への働きかけ。

6月、12月 市内13地域NO2測定

14年6月平均0.039ppm '14年12月平均0.044ppm

13年度ぜんそく市内小学生平均9%中学生6.8%

3. 地球温暖化防止活動

藤沢市の「エネルギーの地産地消の検討会」発足に伴い、学習会やワークショップを開き、市民の意見を反映する事ができた。「エネルギーの地産地消をめざす藤沢市民の会」を立ち上げ、市民発電所づくりを目ざしている。

学習会・見学会など

5月 ふじさわ環境フェア企画実行委員に参加、以後毎回。

6月 「IPCC第5次報告とその後」川崎健

8月 「藤沢市の地球温暖化対策現状とこれから」市職員

10月 茅ヶ崎自然エネルギー発電所見学会

11月 SST(サステナブル・スマートタウン)見学会

11月 地産地消エネルギーを語るワークショップ

12月 環境フェアで「パワー・トゥ・ザ・ピープル」映画上映

12月 「エネルギーの地産地消をすすめる藤沢市民の会」発足以後毎月

4. バイオハザード防止活動

武田問題対策連絡会の代表、事務局を担い、バイオハザード防止活動を進めた。

4,10月武田問題対策連絡会ニュース20号21号発行

11月 漏洩事故3年門前行動

15.2 大清水住民協定破棄問題を陳情一不採択

5. エコネットニュース広報活動

毎月環境情報交流のために、A4判4Pニュースを約400部発行
毎月気象ニュースを提供 また一面写真に鳥、花を提供。

2014年4月239号～2015年3月250号 毎月発行。

2015年度活動計画

「人間が住むにふさわしい環境都市藤沢の実現」にむけて脱原発、自然エネルギー政策の運動をすすめ、低炭素都市ふじさわの実現をめざして活動する。

・年間テーマ 脱原発・低炭素都市藤沢をめざして

・例会-必要に応じ 学習会 講座 情報交換など

・ニュース発行-

月1回251号('15.4月号)～262号('16.3月号)

・学習会-地産地消エネルギー問題 原発問題

・上映会・見学会開催-放射能・エネルギー関連

・ふじさわ環境フェアへの取り組み-

ふじさわ環境フェア企画運営委員会参加。展示参加

・共通する課題での活動

地産地消エネルギーと防災対策

武田薬品湘南研究所安全対策

放射能汚染対策・保養活動

ごみ問題(ごみ行政/有料化問題/汚染焼却灰問題)

大気汚染と子どものぜん息調査

脱原発集会などに参加

緑の保全、公共交通、開発問題

・環境に関する政策提言

藤沢市の平和、脱原発等の未来像

放射性物質に関する意見書等

2014年度 決算 (2014.4月～2015.3月)

収入の部

科目	決算	備考	15年度予算案
繰り越し	29,275		69,194
会費	197,000	71口	200,000
寄付収入	24,410	寄付	10,806
事業収入	15,000	講座参加費	0
合計	265,685		280,000

支出の部

科目	決算	備考	15年度予算案
講師謝礼	5,000	なぎさの会と共催	40,000
会場費	9,496	ロッカー代等	12,000
印刷費	28,425	印刷 用紙コピー	36,000
通信費	112,780	切手メール便FAX	150,000
使用料	24,406	DVD使用料	30,000
消耗品	12,384	封筒 ラベルシート	10,000
雑費	4,000	パレード協賛金	2,000
次期繰越	69,194		0
合計	265,685		280,000

福島県と関東の 甲状腺検査結果から言えること

先頃、福島県の甲状腺検査の結果が発表されました。朝日新聞の報道は「がんやがんの疑いがあるとされた人は、1巡目112人、2巡目15人で計127人となった。2巡目検査は来年3月まで続く。県検討委員会では、1巡目と2巡目以降の結果を比べて被曝の影響を判断するが、「現時点で事故の影響は考えにくい」とする。」というものでした。

原発事故の影響かどうか考えにくいという福島県の検討委員会の見解に対して、岡山大学津田敏秀教授の見解は異なります。「これから1次検査を受診する219,333人全員から、新たに一人の甲状腺がんも検出されなかったと仮定しても、7.60倍(95%信頼区間:4.25倍-12.53倍)の統計的有意な多発となる。」つまり津田教授はすでに被ばくによる健康被害が起こっていると考えておられるのです。

「本格調査」で「悪性ないし悪性疑い」の現在15例の子どもたちが「先行調査」ではどうだったかという、8人はA1、6人はA2でした。つまり、A1であろうとA2であろうと、決して安心はできないということです。福島県では385000人中、C判定は1名のみでした。福島県外でも甲状腺検査は実施されています。その検査結果を見ると、

- ・日光の甲状腺検査結果：計2769名中 C判定4名
- ・つくば市の甲状腺検査結果：計222名中 C判定1名
- ・松戸市の甲状腺検査結果：計147名中 C判定1名

福島県と同じような検査結果の通知をしている日光市やつくば市と比べて福島県のC判定の割合が少なすぎる印象を受けます。「福島では適正に検査が行われているのか？結果にバイアスがあるのではないかと？これらの点を再度問う必要があります。」とツイートされている「サイボーグ001」さんのご意見には説得力があると言えるでしょう。

ここで、私たちが心に留めておくべき事は、福島県の甲状腺検査への疑問と同時に、関東での甲状腺異常が多いということです。このことは、つまりその近県においても甲状腺検査をする必要があることを訴えています。

福島県やホットスポットの方々はもちろん、それ以外の東日本一帯で検査を急ぐ必要があると思います。

(すどうゆりこ)

あれから4年 震災・原発災害克服の途を探る

日本大学生物資源科学部、飯館村放射能エコロジー研究会等の主催でシンポジウムが5月16日(日)に日大藤沢キャンパスで開催された。

11時から5時までの長時間ではあったが、9つの報告と休憩時間はポスターセッションが戦げられ、「福島の子どもたちとともに・湘南の会」も春に行われた保養の様子をポスターにして展示された。どれも重要な内容でたいへん参考になり、これからの放射能をめぐる問題を明らかにして下さり、貴重な1日であった。

福本学氏(東北大学加齢医学研究所)は、福島原発事故被災動物の線量評価事業を立ち上げ活動を継続している。牛や豚、猿などの血液を調べ臓器中の放射性セシウム濃度を調べ研究している。

振津かつみ氏(兵庫医科大学)は福島原発事故による被害者の健康を守るために問題点を細かく話された。子どもは大人より被曝による健康リスクが大きいこと、低線量被曝の健康への影響、「小児甲状腺検査」の「事故による被曝とは関係ない」とするのは評価できないことなどを話された。被害者の健康と命を守るための関わり方では、国と東電の責任、健康管理の医療支援・生活支援が必要、基本的人権としての「健康権」「生命権」の確立と擁護、甲状腺に関わる医療費支援の実現、「健康手帳」の交付などである。

今中哲二氏(京都大学原子炉研究所)は福島原発事故と放射能被害をチェルノブイリの調査との比較し話された。このほか、飯館村の汚染状況を糸長浩司氏、飯館の汚染状況を測定している伊藤延由氏、豊田直己氏からはイラク戦争での写真や福島での風景や人物の映像を、酪農家の長谷川健一氏からは飯館村民救済申立情報を、弁護士の安田行雄氏の申立の主旨・経緯などが話され福島への賠償打切り、帰還問題もあるとのこと。終了後は教授や参加者による懇親会があった。(日比通)



チベット高原の恵み

6月になると、対流圏の上部にある大規模な西風(ジェット気流)の流路が、チベット高原を南側から北側にシフトする。この変化は比較的短時間で起こる。チベット高原の風下に位置する日本列島周辺では、ちょうどその時期になると南北から回り込む気流がせめぎ合って前線ができる。これが梅雨前線のもとになり雨がふる。この気象は、橋脚の下流側にできる渦列の下に日本列島が横たわっている現象と似ている。ジェット気流が北側に移動し終わると、夏が来る。太平洋高気圧が日本列島を覆い、安定した天候が続くことになる。

気温が高く降水量が多い日本の夏の天候は、稲作に適している。稲作文化は東アジア固有のものだが、チベット高原の地形が与えてくれた恩恵と言って良い。水稲と並ぶ代表的な作物の麦については、寒候期に降水量が多いヨーロッパおよびロシア中央部の気候条件に適している。これらから考えると、作物にとっては温度よりも水が制約要因であることがわかる。食文化の起源を考えると、どんな食材にも不自由のない現代人の食生活に対して疑問が湧いてくる。

(林 陽生)



放射能測定値

5月に市民が計測しました

(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

5月半ばごろ高めの日がありました。

5/14	晴れのち曇り	明治公民館室内3F	0.078
5/16	雨のち曇り	日大大講堂内	0.037
5/19	雨のち曇り	遠藤民家A室内	0.047
5/24	曇り	横浜県民センター室内7F	0.081
		横浜駅ホーム	0.070
		辻堂駅コンコース	0.038
		遠藤民家A室内	0.032
5/26	晴れ	滝の沢市民の家	0.032
5/29	小雨	藤沢駅近くビル室内2F	0.061
5/30	晴れ	日大バラ園	0.048

〈藤沢エコネットニュース253号〉

ECONET INFORMATION

映画 「海の中から地球が見える」

語り：武本匡弘さん ゲスト：山秋真さん

6月6日(土) 14:00- 藤沢名店ビル6階

参加費 1200円

主催/連絡先 NPO パパラギ海と自然の教室

0466-26-6101

空気の汚れNO2測定 6/4(木)~6/5(金)

簡易カプセルで24時間測定します。希望者は事務局

までご連絡を ☎0466-87-4922



第4回震災復興支援コンサート

6月14日(日) 13:30-15:30

藤沢市民会館第1展示ホール 500円

主催/問合せ 震災復興支援コンサート実行委員会

Tel/fax 0466-33-2248 永山 33-4820 松本

プラスチックスープの海の話

講演 高田秀重先生(東京農工大教授)

6月13日(土) 13:30~ 鶴沼公民館ホール

主催：藤沢市石けん推進協議会 0466-81-3219

藤沢エコネットから

学習会「増え続ける汚染水—海と魚の放射能汚染」

講師：川崎健さん(東北大学名誉教授)

6月27日(土) 10:00~ 湘南台公民館第1談話室

資料代 500円。

◆会員募集=年会費・購読料→3000円

2015年度会費納入をお願いします

ゆうちょ銀行(9900) 店番(029)

当座預金 0046501 万*物工*社

◆訂正 2月号249号の記事を訂正しお詫びします

3ページ WBCは(ホールボディカウンター)です

◆事務局会議 6月10日(水) 10:00~

市民活動推進センター

《編集後記》このところ火山活動が活発になり、箱根大湧谷の噴煙、口永良部島の噴火があり不安である。火山や地震の予知には長年の研究累積が必要であるが研究のための予算をきちんと取って備えをして欲しい。もし原発の付近が爆発したら…取り返しのつかない怖いことである。(H)